

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス きずな			
○保護者評価実施期間	2025年 7月 1日 ~ 2025年 7月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	23
○従業者評価実施期間	2025年 7月 1日 ~ 2025年 7月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年2回親子イベントを実施している。	保護者同士の交流ができる空間づくりをしている。実際に支援の様子を保護者が見られる機会をもうけている。保護者と子供と一緒に体験できる内容を提供できるようにしている。	今後も親子や家族で参加できるイベントを企画していく。
2	地域交流をできる機会を設けている。	事業所主催のイベントをおこない地域の方々に参加してもらっている。地域のイベントに積極的に参加するようにしている。	近隣の方々や地域の子ども達と交流できるイベントなども検討していく。
3	通所している子供たちが色々な体験ができる機会をもうけている。季節に合わせたイベントをしている。	子供たちが季節を感じながら体験できるように室内での活動や外出活動に取り組んでいる。経験を積むことでできることが増えるように取り組んでいる。	子ども達が色々な経験をできる機会を増やしていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングや父母会などの実施がない。	なかなか機会を作れていない。	今後実施できるように検討をしていく。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 放課後等デイサービス きずな

公表日

2025 年 9 月 1 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		広いスペースで活動したい時は（運動など）テーブルをたたんでスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		その時々で環境を整えている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		活動に合わせた空間を作っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	荷物を置いてしまっている時がある。	個別の部屋などには物がたくさん入ってしまっているので整理していきたい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		毎日10分程度のミーティングと月1回の勉強会兼ミーティング。研修を通して行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		ミーティングなどで行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		ミーティングや研修で行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6	まだできていない。第三者による外部評価も知りたいと思う。	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	9		月1回の勉強会。	毎回スタッフが順番にリーダーとなり研修課題に取り組んでいる。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		HPIに掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		個々に合わせた活動を考えて行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		計画書をいつでも確認できるようにして、全スタッフが情報共有できるようにしてある。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		なるべく計画に沿った活動を考えている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		スタッフ間で共有している。週で変えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		スタッフと話し合いながら行っている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		子供の状況に応じた活動が出来ていると思う。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		業務開始前にミーティングを行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		次の日のミーティングで行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		支援経過を記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		6カ月に一度訪問して保護者の方と話をする機会を設けている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9		活動の中に取り組む努力をしている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		絵カード等を準備し、発語のないお子様でも伝えられるようにしている。(個々の能力に適應させている)	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		心がけている。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	保護者を介し必要に応じて行うようにしている。また、先生とも行っている。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	9		学校公開など行われる場合は積極的に参加し、学校からメールでの連絡もある。送迎時に保護者から情報をもらっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1	相談支援員に聞いたり必要に応じて行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		事業所から依頼があった時は情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	4	なかなか機会がなく行っていない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	6	機会があれば交流の場に参加していきたい。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	9		出来る限り参加するようにしている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		連絡帳や送迎時等に保護者と話をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	保護者より依頼があれば行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時や法改正時に保護者に説明し同意を得るようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		モニタリング時に面談を行いご家族の意向などを聞く機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		保護者との面談を行い同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		保護者からの相談があった場合は、対応できる体制は整っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		年2回親子イベントを開催し、家族で参加してもらったり保護者同士で話をできる機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		ミーティングにて適切に対応できるよう共有している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		HPやLINEを活用し活動の様子などがわかるようにしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		十分に注意をしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		色々なコミュニケーションの手法を取り入れ個々にあった方法を探りながら取り組んでいる。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		年に数回地域の方々と交流できる場を設けています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		定期的に行いHPに載せている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		年4回行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		ミーティングなどで共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	保護者から情報をもらっており、おやつや調理実習時は再度確認し気を付けている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全管理を意識して共有しながら支援している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		勉強会を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		定期的に行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		やむを得ず身体拘束が必要なお子様には保護者からの同意書をいただいております。スタッフ間でも情報が行き届いていない。現在は対象となるお子さんはいない。	